

端側神経縫合と神経移植を用いた顔面神経再建の術式とその成績に関する研究

①対象

2001年～2012年の間に耳下腺悪性腫瘍切除に伴う顔面神経欠損に対して端側神経縫合と神経移植を用いた顔面神経再建を行った計32例（大阪大学医学部附属病院では19例）

②研究機関名

代表施設：新潟大学医学部 形成外科学講座（責任者：松田健）

分担施設：大阪大学医学部附属病院形成外科（責任者：久保盾貴）

兵庫医科大学附属病院形成外科（責任者：曾束洋平）

③目的

2001年～2012年の間に耳下腺悪性腫瘍切除に伴う顔面神経欠損に対して端側神経縫合と神経移植を用いた顔面神経再建を計32例（大阪大学医学部附属病院では19例）行った。これら症例の詳細並びに術後成績を解析し論文報告を行う。

④方法

手術はすでに終わっている症例を対象とした後ろ向きの症例集積研究であり、既存資料のみを用いる研究である。対象の19症例に関し、カルテ、手術記録より神経欠損の範囲ならびに再建範囲、術後放射線照射や化学療法の有無、術後顔面表情筋の回復程度のデータを研究代表施設に提供する。

⑤意義

本法は全世界的にまだ報告の少ない顔面神経再建術式であり、32例とまとまった症例数での良好な術後成績の集積報告はよりよい顔面神経再建を行う再建外科医にとって有意義なものとなり、国内外での顔面神経再建の術後成績の向上に貢献するものと考えている。

⑥個人情報の扱い

「連結可能匿名化」を行い、個人情報を保護する。研究対象者のデータや検体から氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行う研究対象者との符号（番号）を結びつける対応表は外部に漏れないように厳重に保管する。また、この研究により得られたデータを、研究以外の目的で使用することはない。

⑦問い合わせ先

研究責任医師：形成外科 講師 久保 盾貴

連絡先：大阪大学医学部附属病院 06-6879-5530